



11
2009

<http://www.city.sapporo.jp/chuo/>

被害に遭わないために

▶自転車のカゴ用「ひったくり防止ネット」



◀住宅用火災警報器を設置しましょう

今年は全国的に「ひったくり」被害が増加しており、市内でも多発しています。また、これからの季節は空気が乾燥し、火災が増えることが予想されますが、常に出火原因の上位にあるのが「放火火災」。

今月号では、この2つの被害を未然に防ぐポイントを紹介します。日ごろから予防を心掛けることでこのような被害に遭わないようにしましょう。

編集：中央区市民部総務企画課広聴係 〒060-8612 札幌市中央区南3条西11丁目
☎011-231-2400（内線224） Fax011-231-6539

「中央区だより」ラジオカロスサッポロ（FM78.1MHz）毎週金曜午前11時30分～

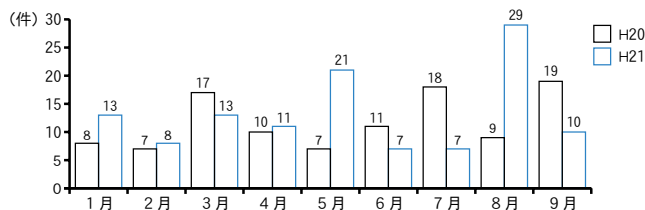
人口 216,909人（前月比 +51）
男 96,680人 女 120,229人
世帯数 119,752世帯（前月比 +32）
平成21年10月1日現在

ないために

ひったくり



●ひったくり被害認知件数の月別推移（道内）



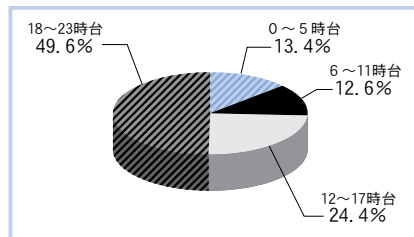
今年は特に8月に連続発生しました。累計でも昨年に比べて13件増加しています。

悪質な犯罪ーひったくり。お年寄りや女性が被害に遭うケースが多く、中には転倒し、けがを負わされた事件も発生しています。

今年は特に全国の都市部で急増しており、市内での発生は道内の約7割を占めています。ここではひったくり被害に遭わないための防止策をご紹介します。

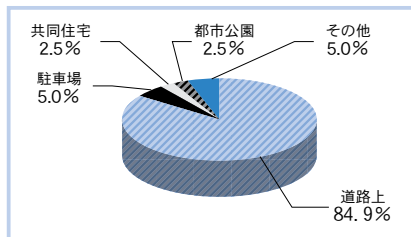
（データはいずれも平成21年9月末現在）

●時間別発生状況



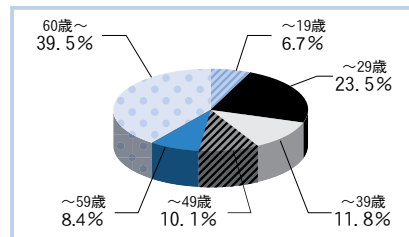
18～23時台の発生が半数近くを占めています。

●場所別発生状況



道路上（住宅街の中通り、次に幹線道路）での発生が8割以上を占めています。

●被害者の年齢別発生状況



60歳以上が約4割、20歳代が2割以上を占め、ほとんどが女性です。

ひったくり被害に遭わないための3つのポイント

<徒歩の場合>

- バッグは車道側ではなく「建物側」に持つ。
- バッグを前に抱えるようにしっかりと持つ。
- ショルダーバッグはたすきがけにする。



<自転車の場合>

- カゴに貴重品を入れない。
- ひったくり防止ネット・バンドを取り付ける。
- バッグの上に服や雑誌を置く。



◎北海道警察と社団法人札幌ハイヤー協会では、タクシー乗務員が事件などを目撃した場合は、通報するとともに、車両に搭載しているドライブレコーダに録画を行うという内容の協定を今年8月に締結しました。事件の検挙と予防に効果が期待されます。

自分だけは「大丈夫」と思わないで！

- 人通りが多く、明るい道を選びましょう。
- 110番通報がすぐにできるように、携帯電話は身に着けておきましょう。
- 防犯ブザーなどを携帯しましょう。

お問い合わせ

中央警察署生活安全第一課

（北1西5）☎242-0110

もし被害に遭ったら

- 大声で周囲に知らせる。
- すぐに110番通報する。
- 被害品を確認する。
- 犯人の特徴（逃走手段、服装、人数など）を覚える。
- 必ず被害届を提出する。



犯行現場を見かけたら

- その場ですぐに110番通報する。
- 現場状況（時間、場所、負傷状況、犯人の特徴など）を警察に通報する。



こんな場面に注意



↑金融機関からの帰り道



↑女性の深夜の一人歩き



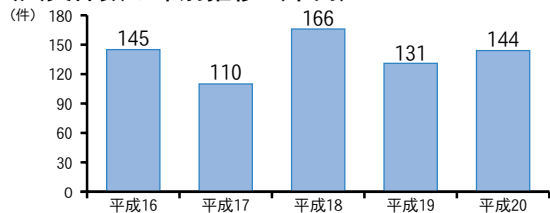
↑高齢者の一人歩き



放火火災

被害に遭わ

●放火火災件数の年別推移（市内）

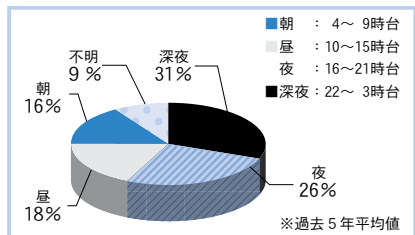


放火火災は年間約140件（過去5年平均）も発生しており、常に出火原因の上位にあります。

市内では、今年1月から9月末までに519件の火災が発生しています。そのうち放火による火災が125件と出火原因の中で最も多く、昨年同時期と比べ23件も増加しています。

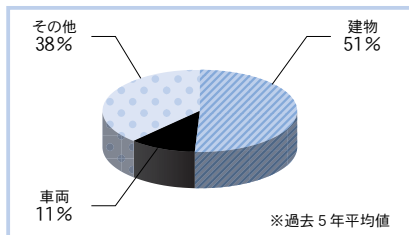
ここでご紹介する予防策を、ぜひ今すぐご家庭でも実践してみてください。日ごろから放火予防の意識を高め、家族、地域みんなで「放火されない環境づくり」に取り組みましょう。

●時間帯別発生状況



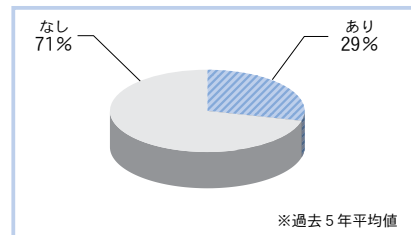
放火火災の多くは、人目につきにくい夜、特に深夜に発生しています。

●場所別発生状況



その他～敷地内に置かれた物品、ごみステーションのごみなどが含まれます。

●施錠状況



放火された建物や車のうち、約7割が施錠されていませんでした。

設置はお済みですか？

住宅用火災警報器 ～あなたの命を守ります！～

住宅火災で死に至った原因としては、「逃げ遅れ」の割合が非常に高く、住宅火災の死者の半数以上が65歳以上のお年寄りです。

このことから火災の発生を早期に発見し、逃げ遅れによる死者を防ぐため、平成20年6月1日から、新築住宅だけでなく、今お住まいの住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

＜購入先＞ホームセンターや消防設備を取り扱っている会社などで販売されています。新築、改築の際には、ハウスメーカーや施工会社にもご相談を。ガス事業者では、販売、リースを行っている会社もあります。

◎町内会など地域単位で住宅用火災警報器を共同購入しませんか？

共同購入することにより、比較的安価に購入することができ、また、悪質訪問販売の対策にも大変効果的です。ご相談は、お近くの消防署へ。



放火火災を防ぐポイント

- 家の周りに燃えやすい物を置かない。
- マンションやアパートの廊下や階段に物を置かない。
- ごみは決められた日の朝に出す。
- 物置や車庫、駐車場の車には必ず鍵を掛け、日ごろから戸締まりを確認する。
- 普段から町内会や隣近所と話し合うなど、協力して放火されない環境をつくる。



その他の出火原因と予防策

こんろ



- 電話や来客の際には必ず火を消す。
- 周囲に燃えやすい物を置かない。
- 古いゴム管は早く取り換える。

たばこ



- 必ず灰皿のあるところで吸う。
- 吸い殻は水を掛けてから捨てる。
- 寝たばこは絶対にしない。

ストーブ



- 周囲や真上に洗濯物を干さない。
- 外出時や給油時は必ず火を消す。
- 定期点検、清掃をし、正しく使う。

火遊び



- 子どもの手の届くところにライターなどを置かない。
- 花火は水を用意し必ず大人と行う。
- 普段から火の恐ろしさを教える。

電気



- 使用後はプラグを抜く。
- コンセントにほりこりをためない。
- コードを束ねたりたこ足配線はしない。

車両・その他

- 車両の定期点検、整備をする。
- 落雪による配管折れなどに注意。
- スプレー缶は中身を完全に放出してから廃棄する。

お問い合わせ
中央消防署予防課
(南4西10) ☎215-2120

区役所関連施設

市コールセンター ☎222-4894

中央区役所
☎231-2400(南3西11)
中央保健センター
☎511-7221(南3西11)
中央区土木センター
☎614-5800(北12西23)
中央区民センター
☎271-1100(南2西10)
旭山公園通地区センター
☎520-1700(南9西18)

大通公園まちづくりセンター
☎251-6353(北1西9)
東北まちづくりセンター
☎251-8119(北2東2)
苗穂まちづくりセンター
☎261-3669(北1東10)
東まちづくりセンター
☎241-1696(南2東6)
豊水まちづくりセンター
☎521-0204(南8西2)
西創成まちづくりセンター
☎521-2384(南5西7)
曙まちづくりセンター
☎511-0116(南11西10)
山鼻まちづくりセンター
☎511-6371(南23西10)
幌西まちづくりセンター
☎561-3256(南11西14)
西まちづくりセンター
☎561-7124(南6西13)
南円山まちづくりセンター
☎561-2472(南9西21)
円山まちづくりセンター
☎611-3367(北1西23)
桑園まちづくりセンター
☎621-3405(北7西15)
宮の森まちづくりセンター
☎644-8760(宮の森2-11)

市税の夜間・休日 納付相談について

市税を納付できない事情があり、平日の午後5時15分までに区役所へお越しになれない方に対して、夜間・休日相談を行いますのでご利用ください。

▽夜間相談 11月30日(月)～12月4日(金)の午後8時まで。
▽休日相談 12月5日(土)、6日(日)の午前9時～午後4時。
※夜間・休日相談は、庁舎南側玄関からお入りください。
(詳細) 納税課

☎(231) 2400

国民健康保険料の 夜間・休日相談について

11月末は平成21年度国民健康保険料第6期分の納期限です。納め忘れないようお願いします。

なお、保険料を納付できない特別な事情(証明書類必要)があり、平日の午後5時15分までに区役所へお越しになれない方に対して、夜間・休日相談を行いますのでご利用ください。



▽夜間相談 11月26日(木)、27日(金)の午後8時まで。
▽休日相談 11月22日(日)午前9時～午後3時。
※夜間・休日相談は、庁舎南側玄関からお入りください。
(詳細) 保険年金課収納一・二係
☎(231) 2400

中央区民センター演奏会

「PMFプレゼンツ」クラシックコンサート」

▽内容 PMF修了生による演奏会です。本格的なクラシ



ックの素晴らしい音色をお楽しみください。なお、曲目は未定です。
▽日時 12月5日(土)午後1時30分開演(午後1時開場)。
▽会場 中央区民センター2階区民ホール(南2西10)。
▽定員・費用 200人・無料。
当日、直接会場へ。
(詳細) 中央区民センター運営委員会
☎(271) 1100

ニュースレター

「きれいなまち、ちゅうおう」を創刊

中央区では、住みよい環境を築くまちづくりを進めるため「協働による地域の環境美化活動(中央区道路アダプト制度)」と「子どもの環境美化活動」の2つの事業を行っています。

このたび、これらの事業に取り組んでいる団体や学校を紹介するニュースレター「きれいなまち、ちゅうおう」を創刊しました。区内下記の施設で配布していますので、ぜひご覧ください。なお、今後は2カ月に1回(偶数月)発行する予定です。

◆配布場所 中央区地域振興課、総務企画課広聴係、区内まちづくりセンター、中央区民センター、旭山公園通地区センター、ボランティアセンター(北1西9リネージュプラザ内)。また、区内の(株)ラルズおよびマックスバリュ北海道(株)の各店舗、ジャスコ札幌桑園店。

(詳細) 地域振興課まちづくり調整担当
☎231-2400



▲きれいなまち、ちゅうおう

(健康guide)ガイド

中央保健センターからのお知らせ

【住民集団健康診査のお知らせ】

11月27日(金)が今年度最後の受診日となります。指定日にお越しになれなかった方で受診を希望される方は、右表の日程でも受けることができますので、お越しください。

◆内容・対象者・費用

①特定健康診査(問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査)～40歳以上74歳以下で札幌市国民健康保険に加入の方：費用600円。

②後期高齢者健康診査(問診、身体計測、身体診察、血圧測定、血液検査、尿検査)～札幌市民で長寿医療(後期高齢者医療)制度に加入の方：費用400円。

※①②とも札幌市から事前に郵送される「受診券」と「被保険者証」が必要です。

また、市・道民税非課税世帯の方と生活保護世帯の方(受給証明が必要)は費用無料。

注意)札幌市国民健康保険以外の健康保険にご加入の方は、その健康保険でこの住民集団健康診査が健診先として指定されている場合に限り受診できます。加入している健康保険にお問い合わせください。

※次の検診は加入健康保険にかかわらず受診可能。

肺がん検診(胸部X線検査)～40歳以上の札幌市民の方：費用無料(喀痰検査400円。費用が免除

(詳細) 保健センター健康・子ども課
〒060-0063 南3西11 ☎511-7221

される場合がありますのでお問い合わせください。

緊急肝炎ウイルス検査(B・C型肝炎ウイルス検査)～札幌市民で希望する方(年齢制限なし。ただし、過去に同検査を受けていない方)：費用無料。

健康相談(相談、血圧測定、尿検査)～15歳以上39歳以下の札幌市民の方：費用無料。

◆日程・会場 下表の通り。

◆申込 不要。当日、なるべく空腹の状態でご来場へ。

<住民集団健康診査日程>

月	日	受付時間	会場(所在地)
11月	12日(木)	午前9時30分～11時	幌西会館 (南11西14)
	27日(金)	午前9時30分～11時	中央区民センター① (南2西10)
		午後1時30分～3時	中央区民センター② (南2西10)



申込・詳細
中央区社会福祉協議会
☎(281) 6113
FAX(208) 0881

▽対象 区内在住の方。
▽定員・費用 70人・無料。
▽申込 11月11日(水)午前8時45分から電話かファクス(住所、氏名、電話番号を明記)で。先着順。

▽会場 中央区民センター2階つどいA・B(南2西10)。
▽日時 12月3日(木)午後1時30分～3時30分。
▽内容 「障がい者週間」記念事業として、身体、知的、精神、それぞれの障がいのある方をパネリストとして迎え「障がい者の悩みと地域に望むこと」をテーマに発表を行い、障がい者への理解と地域で何ができるかを考えます。

フォーラム2009「障がい者への理解と地域支援を考える」

中央区社会福祉協議会
からのお知らせ

広告

地区センター講座

パソコンで年賀状を作りましょう！「自分流のステキな年賀状を作成して新年のご挨拶！」

▽内容 文書ソフトWordを使って年賀状を作成します。Excelの住所録を利用したあて名の印刷方法など。
▽日時 11月16日(月)午前9時～午後4時(昼食を持参ください)。

▽会場 旭山公園通地区センター集客室A・B(南9西18)。

▽対象・定員 区内在住か在勤の18歳以上の方(高校生を除く)・18人。

▽受講料・持ち物 千800円・筆記用具。



▽申込 11月12日(木)午後1時から同センター1階多目的ホールで受け付け開始(電話不可)。
※開始時点で定員を超えた場合は抽選。定員に満たない場合は、引き続き先着順で窓口で受け付け(午前8時45分～午後7時(日曜日を除く))。
※受講料は申し込み時にお支払いください。納入された受講料の払い戻しはできません

ので、ご了承ください。

申込・詳細 旭山公園通地区センター
☎(520) 1700

地区センター ふれあいコンサート

▽内容 第1部Ⅱ北広島弦楽合奏団による演奏。「ブランデンブルグ協奏曲第5番」映画『おくりびと』メインテーマ「崖の上のポニョ」ほか。
第2部Ⅱコール・ハミング、啓明中学校、幌西小学校の合唱。ファイナレⅡ出演者全員による合同合唱「日本の四季メドレー」。

▽日時 11月23日(祝)午後1時30分～3時30分(午後1時開始)。

▽会場 旭山公園通地区センター多目的ホール(南9西18)。

▽定員・費用 250人・無料。

▽申込 不要。当日、直接会場へ。
※プログラムは開場の際にお渡しします。

※コンサート当日は、駐車場の利用はできません。ご来場の際は、公共交通機関でお越しください。

1 詳細 旭山公園通地区センター
☎(520) 1700



区役所へは公共交通機関でお越しください

区役所にお越しの際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

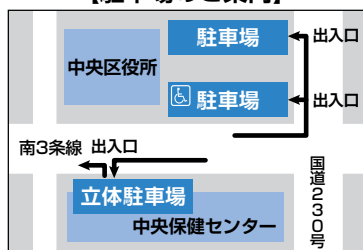
区役所周辺は駐車禁止となっています。路上での駐車はおやめください。

なお、区役所駐車場をご利用になる方は、交通の妨げとならないよう順番に並んでお待ちください。

また、中央保健センター(南3西11 区役所南側)の立体駐車場も利用できます。

(詳細) 総務企画課 ☎231-2400(内線215)

【駐車場のご案内】



ストップ・ザ・死亡事故

北海道は全国ワースト1を返上したとはいえ、交通事故死者数が全国でも高い水準となっています。これから冬場を迎え日没が早まりますので、外出時は明るい服装や夜光反射材を身に着けるなどの注意が必要です。

これ以上交通死亡事故が起きないように、一人一人が交通ルールとマナーを守りましょう。

交通事故発生件数

	発生件数	死者数	傷者数
中央区	1,230 (-167)	2 (+2)	1,465 (-192)
札幌市	6,736 (-630)	20 (±0)	7,949 (-751)

※平成21年10月20日現在。()は前年比

子育て掲示板

～子育てに役立つ情報を提供するコーナーです～

【両親教室】

ご夫婦で赤ちゃんを迎える準備をしませんか？

- ◆内容 講話、育児実習、妊婦疑似体験など。
- ◆日時 12月4日(金)午後6時30分～8時30分（受け付けは午後6時から）。
- ◆会場 中央保健センター2階講堂（南3西11）。
- ◆対象 区内在住で平成22年2～4月に出産予定の初妊婦とその夫。
- ◆定員・費用 50組・無料。
- ◆持ち物 母子手帳、テキスト「わが家に赤ちゃんがやってくる」。
- ◆申込 11月16日(月)から電話で（ファクス不可）。先着順。

【申込・詳細】 健康・子ども課 ☎511-7221

【にこにこクッキング】

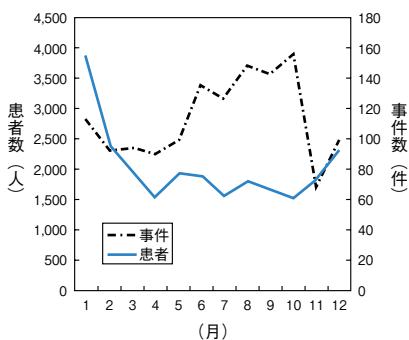
お子さんの食育と子育てについての講話、食生活改善推進員による簡単料理の調理実習を行う教室です。

- ◆日時 11月27日(金)午前10時30分～午後1時（受け付けは午前10時15分から）。
- ◆会場 中央保健センター2階講堂・栄養実習室（南3西11）。
- ◆対象 区内在住の子育て中のお母さん、お父さん。または、これからお母さん、お父さんになれる方（妊婦の方は、7カ月までの方）。
- ◆定員・費用 15人・300円（調理実習材料費）。
- ◆持ち物 エプロン、三角きん、スリッパ。
- ◆申込 11月11日(水)午前9時から電話で（ファクス不可）。先着順。
- ◆その他 託児あり（先着10人）。

【申込・詳細】 健康・子ども課 ☎511-7221



全国食中毒発生状況（平成20年）



冬は気温が低く、食品が腐りにくい。そのため、食中毒が起りにくいと考えがちです。しかし、年間で最も食中毒の患者数が多いのは12～2月の真冬です。

冬は食中毒が少ない ↓ ×

食欲の秋になりました。また、年末にかけて、家族や同僚と食事を共にする機会も増えてきます。今回は食中毒の常識・非常識を再確認してみましょう。



食の安全マメ知識第7回

食中毒の常識・非常識

原因は発症直前の食事にあります ↓ ×

ノロウイルスによる食中毒の場合は、食事・感染から1日半ほどで発症します。その他の細菌性食中毒は発症まで数日かかることもあり、発症直前の食事が原因と決めることはできません。

食品のにおい・味などで判別できる ↓ ×

食品が腐っているかどうかはにおいや味で判別できますが、腐っていない食品でも食中毒菌やウイルスに汚染されている場合があります。

新鮮な食品ならばすべて安全 ↓ ×

食品は新鮮なものを食べるのが基本であり、魚の刺身などは新鮮な方が安全です。

しかし、肉は魚と同じく新鮮であれば生で食べても安全であると考えるのは誤りです。むしろ新鮮な肉ほど食中毒菌や寄生虫も活発であるため、生で食べたときに感染する危険性が高いのです。

詳しくは広報さっぽろ8月担当

号「区民のページ」7ページをご覧ください。
食中毒になったら下痢止めを飲めばよい ↓ ×

人間の体は、下痢によって病原菌や毒素を体外に出そうとします。食中毒の場合「下痢止め」を飲んでしまうと、細菌や毒素が長い間体内にとどまり、回復が遅れたり症状の悪化を招いたりすることがあります。

むやみに下痢止めを飲まず、水分を多く取り、何度も下痢を繰り返すようであれば早めに医師の診察を受けましょう。
食中毒は人から人にうつらない ↓ ×

食中毒の原因になる菌のうち、腸管出血性大腸菌O157やサルモネラ属菌、ノロウイルスは強力な感染力があり、感染者のふん便や嘔吐物を介して人から人へ感染していきます。

本人も周囲も感染しない・させないためには、手洗いが効果的です。手洗いを30秒以上しっかり行い、感染拡大を防止しましょう。

【詳細】 保健センター生活衛生担当 ☎(511) 7227



大切なのは コミュニケーション (10/15)

札幌市教育文化会館（北1西13）において「中央区みんなの講演会」が開催され、約630人が参加しました。第1部では、M I W工房代表の姉帯美和子氏がコミュニケーションの大切さについてユーモアあふれるエピソードを織り交ぜながら講演を行いました。

第2部では、区内の各連合町内会女性部が合唱やハワイアンダンス、太極拳など日ごろの活動の成果を披露しました。



▲心をひとつにハーモニー



◀「気持ちを相手に届けよう」



▲リズムに合わせて「アロ〜ハ〜♪」

鼓隊も応援 交通安全 (9/29)

市立中央小学校（大通東6）において「中央区東北・苗穂・東三地区合同交通安全のつどい」が行われ、同校児童や地域住民、中央警察署員など約590人が参加しました。この日は、同校グラウンドでの交通安全教室の後、参加者が同校6年生の鼓隊とともに周辺地域を行進し、交通安全を呼びかけました。



◀交通安全の願いを込めて



▶「そうやって編むのね」



◀「あら、びったりね」

古着を草履に リサイクル (10/7)

中央区民センター（南2西10）において「出張リフォーム教室 古布で『布ぞうりづくり』」が開催され、区民約20人が参加しました。参加者は、講師に作り方を教わりながら、家から持ってきた古着を編み込んだ自分だけの草履を作り上げました。



▶「めがけて」

地域の防災 みんなで (10/4)



◀「えいっ!」

市立緑丘小学校（南10西22）において「南円山地区防災訓練」が行われ、地域住民など約180人が参加しました。会場では、バケツリレーや消火器を使った消火、倒壊家屋からの負傷者救出などの訓練を行い、参加者は万が一の災害に備えて、真剣な表情で取り組んでいました。